

開講年次・時期	1年後期	授業回数	15回	時間数	30時間	必修・選択	選択	授業形態	演習	単位数	1単位
---------	------	------	-----	-----	------	-------	----	------	----	-----	-----

科目コード	NC210	科目名	コミュニケーション技術Ⅱ	担当者名	芳賀 砂智子(実務家教員)
授業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・さまざまな介護場面における専門職としての適切なコミュニケーション方法を学ぶ。</li> <li>・利用者・家族・多職種としてのコミュニケーション技術を修得する。</li> <li>・介護福祉施設や居宅介護支援事業所での勤務経験を活かして、介護福祉場面でのコミュニケーション方法について実務を踏まえた授業を行う。</li> </ul>				
科目の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・さまざまな症状や障害を理解し、それに応じたコミュニケーション技法を学ぶ。</li> <li>・専門職としてのチームコミュニケーション能力を修得する。</li> <li>・介護における家族とのコミュニケーションを理解する。</li> </ul>				
DPの観点	①聞く力(20%) ②表現力(20%) ③柔軟性(10%) ④協調性(20%) ⑥専門知識・技能(20%) ⑨主体性(10%)				
授業時間外学修(予習・復習)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テキストの習熟と専門用語を調べる。</li> <li>・予習・復習はそれぞれ2時間程度行うこと。</li> </ul>				
フィードバックの方法	コミュニケーションカードに疑問等を附してもらい、授業終わりまたは次の授業でフィードバックする。				
単位認定の要件	授業内活動や発表等と、期末試験で合格基準を満たすことを単位認定要件とする。				
評価の方法・割合(%)	期末試験(60%) 発表等(20%) 授業内活動(20%)				
履修上の注意事項	介護福祉士資格取得必須科目 30分以上の遅刻は欠席とする。 遅刻3回で欠席1回とする。				

回数	予定	実施	テーマ・内容	観点	方法
1			コミュニケーションとは	①②③④⑥⑨	コミュニケーションカード
2			家族との関係づくり	①②③④⑥⑨	コミュニケーションカード
3			ICF視点とコミュニケーション技術	①②③④⑥⑨	コミュニケーションカード
4			家族への助言・指導・調整	①②③④⑥⑨	コミュニケーションカード
5			家族関係と介護ストレスへの対応	①②③④⑥⑨	コミュニケーションカード
6			ジョハリの窓 オノマトペ	①②③④⑥⑨	コミュニケーションカード
7			認知症者へのコミュニケーション方法	①②③④⑥⑨	コミュニケーションカード
8			チームのコミュニケーション	①②③④⑥⑨	コミュニケーションカード
9			プレゼンテーション①	①②③⑥⑨	コミュニケーションカード
10			プレゼンテーション②	①②③⑥⑨	コミュニケーションカード
11			記録方法	①②③④⑥⑨	コミュニケーションカード
12			報告・連絡・相談	①②③④⑥⑨	コミュニケーションカード
13			会議・議事進行・説明の技術	①②③④⑥⑨	コミュニケーションカード
14			情報の活用と管理のための技術	①②③④⑥⑨	コミュニケーションカード
15			これまでのまとめと振り返り	①②③④⑥⑨	コミュニケーションカード
期末試験			まとめと確認		

使用テキスト	最新・介護福祉士養成講座 第5巻「コミュニケーション技術」荘村明彦 中央法規出版
参考文献 参考URL	介護福祉学 介護福祉学研究会監修 中央法規出版
備考	進行状況により、授業のテーマ・内容は変更になる場合がある。

DPの観点	①聴く力②表現力③柔軟性④協調性⑤社会性⑥専門知識・技能⑦思考力⑧実践力⑨主体性⑩問題解決力
-------	--

授業の自己評価	
---------	--